

令和2年度年間指導計画を見直す際の参考資料（小学校高学年 学級活動）

1 年間時数の見直しについて

- 年間35時間（週1時間）の標準授業時数を、年間10時間（隔週1回程度）以上とする。

2 時間数の精選方法（例）

- 学習指導要領の「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえ、重点的に指導する内容を精選する。その際、児童の発達段階や実態に合わせて、学級活動の内容(1)(2)(3)の3つの内容をバランスよく配置する。
- 内容の配置については、指導内容の関連を鑑み、複数の内容の統合を図ることも考えられる。
※例えば、(2)イ、(3)アを統合して、「小学〇年生になって」等の題材を設定する。
- 関連する行事（学校行事や児童会活動等）に合わせて学級活動の時間を設定する必要がある場合、一定期間にまとめて学級活動の時間を設定することも考えられる。
- 隔週程度としたことで余剰時間が生まれた場合には、学校の実態に合わせて、学級活動の充実に充てたり、他教科等の時間に充てたりすることが考えられる。
- 学級活動と道徳との関連については、道徳科で学んだことの実践の場として学級活動の時間を活用するといった「両輪の関係」であることから、時間割作成時に「学活/道徳」といった単位で設定し、学活と道徳を週替わりで行うことも考えられる。
- 事前や事後の活動として朝の会や帰りの会を活用し、清掃や給食当番の活動や係活動についての振り返り活動を取り入れるなどの工夫も考えられる。

3 発達の段階に即した指導の重点 ※学級活動(3)の例

＜参照：小学校学習指導要領解説 P81＞

- 意思決定したことに粘り強く取り組み、努力してやり遂げた達成感が味わえるような活動にする。
- 当番や委員会など、自分の役割や責任、自他のよさを考え、友達と高め合って取り組めるようにする。
- 自分の将来を描き、その実現のために学習することの意義や、学習の見通しや振り返りの大切さ、適切な情報の収集や活用の仕方について考え、主体的に学習に取り組めるようにする。

4 年間指導計画の見直しの例 小学校第6学年

回	議題・題材	内容	活動内容・留意点 等
1	学級目標、係委員会を決めよう	(1)ア イ	・事前に集約していた「どんな学級にしたいか」を基に学級目標を決定する。 ・児童の希望を基に、委員会・係を決定する。
2	6年生になって	(2)イ (3)ア	・6年生の学習や生活を知り、不安を解消し互いに支え合う人間関係をつくる。 ・6年生における具体的なめあてを立てる。
3	自分を大切にしよう ～こころのSOSの出し方、 受け止め方～	(2)ア ウ エ	・ストレスへの様々な対処方法について話し合い、現在及び今後大きな不安や悩みを抱えた際の援助の求め方について考える。※「生活のリズム」「運動、睡眠、食事」等、心身の健康につながる生活について取り上げることも考えられる。
4	委員会パワーアップ作戦	(3)イ	・学期の委員会活動を振り返り、委員会活動を改善させるための方法について話し合う。
5	学校行事を成功させよう	(1)ウ	・各学校で実施される行事のねらいを達成するために何を行うのかを話し合う。 ※学校行事の大幅な精選を踏まえ、該当する行事を絞り込むようにする。
6	いじめのない楽しい学級にしよう	(1)ア	・いじめを生まない集団をつくるためにはどうしたらよいか話し合い、みんなのできる取組について決める。※道徳や人権集会等との関連を図る。
7	よりよい学習習慣	(3)ウ	・将来に役立つ学習の方法や工夫について話し合い、今の自分の学び方を改善するための具体的な目標や方法を決める。
8	「相手の気持ちを考えて」 ～情報化社会におけるモラル～	(2)イ	・インターネット・SNSの利用に関するトラブルの解決策について話し合い、使用の際に自分が気を付けることを決める。
9	6年生がんばったね会をしよう	(1)ア	・会でどんなことをするか話し合い、内容や方法を決める。 ※共に過ごしてきた友達への感謝を表すとともに、自分自身や学級集団の成長に気づき、中学校への心構えをもてるような集会在考えられる。
10	中学生に向けて	(3)ア	・中学校入学に向けてがんばりたいことについて話し合い、今後の生活に向けた具体的なめあてを立てる。